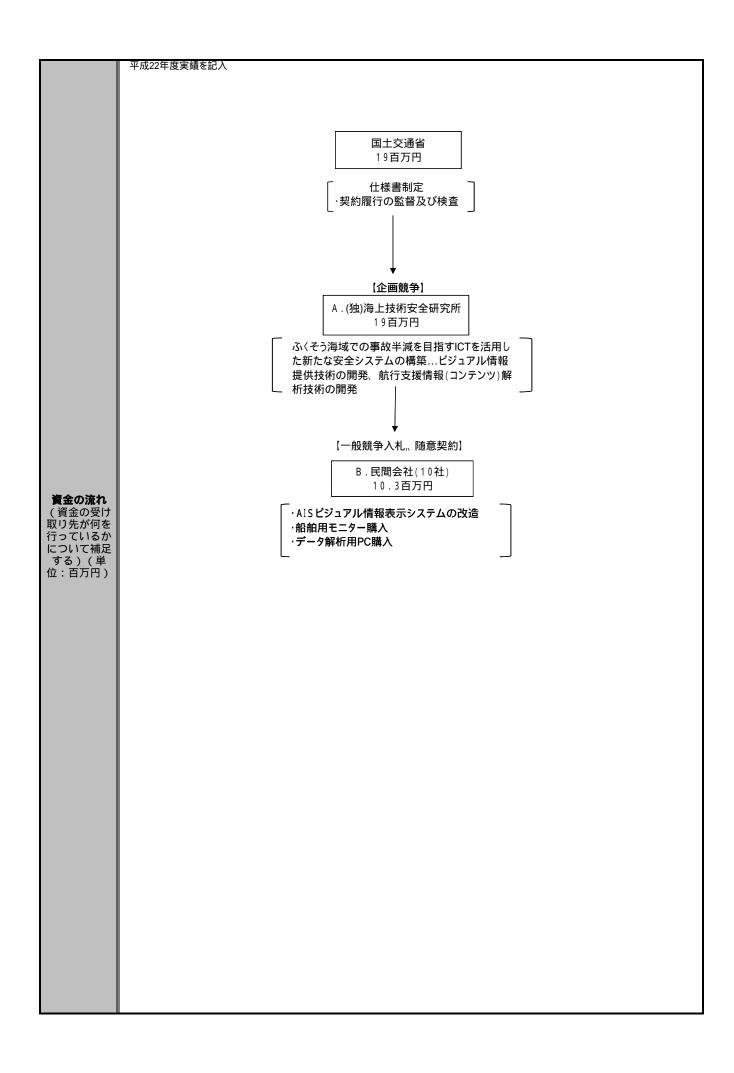
						ше і	12- 5.	事業番	_	53	
				平成23年1		東レ	ヒューシー	<u> </u>	(国土3	(週首)	
	業名	海上ナビゲーションシステムに関する技術開 発		担当部	局庁	総	総合政策局		作成責任者		
	護開始・ 予定)年度	平成21年度/平成23年度		担当	课室	技	技術政策課		課長 池田 陽彦		
会	計区分	一般会計			施策	i名	44 技術研究開発を推進する				
(具	拠法令 (体的な (も記載)		-		関係する通知	等	国土交通省技術 新交通ビジョン 答申)	T - 7			
事業の目的 (目指す姿を アルタイムで分かりやすく表示する技術を開発し、陸船間における情報提供・共有の高度化を図ることにより、船 簡潔に。3行程 度以内) AISが有する仮想の航路標識を表示させる機能(バーチャル航路標識機能)やバイナリーデータによる情報伝送							、船舶がふくそ	うする海域での事			
(51	本学権概要										
実	施方法	直接実施	業務	秀託等	補助		貸付	その他			
				20年度	21年度		22年度	23年	度	24年度要求	
		予当	刃予算	-	28		20	20		-	
		算補正	E予算	-	0		0	0			
	算額・ 1行額	が操起	越し等	-	0		0	0			
	江:百万円)	況計		-	28		20	20	20		
		執行額		-	27		19				
		執行率(%)		-	96.4%		97%				
			成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
成!	果実績	年度計画通り	の進捗		成果実績	達成	t -	十分達成した	十分達成し1	た 十分達成した	
(<i>)</i> *•.	クトカム)				達成度	%	-	-	-		
			活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
活動指標及び 活動実績 (アウトブット)		本事業は、特定の事項について、複数年度にわたり 技術研究開発を行うものであり、上記の成果指標・ 成果実績とは別途に活動指標・活動実績を定めて実 施するという性質のものではない。			活動実績 (当初見込 み)	-	-	-	-		
単位当た り コスト		19百万円			算出根拠 本事業における平成22年度の執行額						
平	費	目	23年度当初予算	24年度要求			主	な増減理由			
成 2 3	技術研究	開発謝金	0.09百万円	-							
	技術研究	開発調査旅費	0.08百万円	-							
2	技術研究開	発委員等旅費	0.004百万円	-							
4	技術研究	開発調査費	0.01百万円	-				-			
度予	技術研究	開発委託費	19百万円	-							
算内											
訳	—————————————————————————————————————		20百万円								
			<u> </u> で、端数において合計。		11+ ~ 1	-√+ 7					

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的・予算の		広〈国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の法		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	1	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
流れ、	1	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目 ·		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
助実		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
調、		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが	
実績	_	南供された 竹口 5寸 円 畑は 1 ハロ 江田されているか	
点検結	要がある ·本事業 及·活用	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 「年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なこと ため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに こ分める。	
点検結果	要がある ·本事業 及·活用 【前回の	 年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なこと ため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められること。	から、平成23年度で終了し、今後は成果の
点検結果	要がある ·本事業 及·活用 【前回の	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに ころのものである。	から、平成23年度で終了し、今後は成果の1
点検結果	要がある ·本事業 及·活用 【前回の	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに ころのものである。 指摘を踏まえた執行上の改善点】 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと	から、平成23年度で終了し、今後は成果の1
点検討果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに言 に努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の計
点検討果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに ころのものである。 指摘を踏まえた執行上の改善点】 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと	から、平成23年度で終了し、今後は成果の計
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることが こ努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の予した。
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることに言 に努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の音 した。 怪止とする。
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることが こ努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の音 した。 を止とする。
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることが こ努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の音 した。 を止とする。
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることが こ努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の刊 した。 怪止とする。
点検結果	要がある業 ・本活 用 に 前回のム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度の実施にあたっては、当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことため、企画競争により委託先を選定している。 こついては、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成すると認められることが こ努める。 指摘を踏まえた執行上の改善点 の精度を向上させるため、様々な海域における実証実験を重点的に実施することと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	から、平成23年度で終了し、今後は成果の予した。



		A.(独)海上技術安全研究所			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	外部委託	AISビジュアル情報表示システム改 造	(E/JID)			(日/117)
	物品購入	船舶用モニター購入、データ解析用P C購入	2			
	人件費	研究補助者	6			
	その他	会議開催費(謝金、旅費)	1			
	一般管理費	光熱水費	1			
	消費税		1			
	計		19	計		0
		B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西			F.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	人件費	AISビジュアル情報表示システム改造技術検証作業等	7			
	その他	出張旅費、一般管理費	1			
費目·使途						
(「資金の流れ」						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費 目と使途の双方						
で実情が分かる ように記載)						
	計		8	計		0
		C.	A 65		G.	
	費目	C. 使 途	金額(百万円)	費目	G. 使 途	金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
		T	(百万円)			(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
		使 途	(百万円)		使途	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)
	計	使 途 D.	(百万円)	計	使 途 ————————————————————————————————————	(百万円)

支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	ふくそう海域での事故半減を目指すICTを活用した新たな安全システムの構築	19		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支 出 額 (百万円) 入札者数 落札率 支 出 先 業務概要 1 (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西 AIS ビジュアル情報表示システム改造 99.1% 8 2 Basic Japan((株) 船舶用モニター他購入 0.5 3 100.0% 3 (株) Project White データ解析用64bitPC購入 0.4 随意契約 データ解析用PC購入 0.3 随意契約 4 (株)サードウェーブ 外付け大容量HDD RAID購入 0.1 随意契約 5 (株)ユニットコム 東日本営業本部 データ解析用64bitPC購入 0.3 随意契約 6 (株)エヌ・ティ・ディ・データリージョナルビジネス事業本部 GIS開発ツール購入 0.3 随意契約 7 デル(株) 船上実験用ノートPC購入 0.1 随意契約 ハードディスク、ソフトウェア購入 0.1 随意契約 8 (有)木村商店 9 (株)ユニットコム 府中営業所 外付け大容量HDD RAID購入 0.1 随意契約 10 (社)日本海運集会所 船舶明細書購入 0.1 随意契約